

『魅力あふれる香川型教育メソッド〈1〉

～社会と出会い、問うことを楽しむ「香川型探究学習」編～】【概要】

はじめに

- 「香川型」という名称の意味
 - ・ 「魅力あふれる県立高校推進ビジョン」を踏まえたメソッドであること
 - ・ リーディングスクールの研究実践等から生み出された考え方であること
 - ・ 香川県の状況や学校を取り巻く環境を踏まえつつ構想したものであること
 - ・ 本メソッド独自の切り口による具体的な解説を含むこと

第Ⅰ章 香川型教育メソッドの構想にあたって

- 社会の変化や国の動向等を踏まえ、今後の高校教育における探究学習の推進の重要性を解説
- 香川型教育メソッドの基礎となる考え方及び本書の位置付け
 - ・ 「魅力あふれる県立高校推進ビジョン」を基盤にしている
 - ・ 「**香川型教育メソッド**」構築の**第一段階として、コア部分である探究学習に関するメソッドを開発**
 - ・ 「**郷土への理解や郷土愛」「イノベーション創出力」「グローバル社会への対応」に必要な資質・能力の育成への取組が融合し、大きな相乗効果をもたらす探究学習のあり方について解説**

第Ⅱ章 香川型探究学習の考え方

- 郷土への理解や郷土愛
 - ・ 最良の学びの素材である「郷土」の、探究学習での生かし方
 - ▶ **他の地域との比較/郷土を再認識する活動/郷土で活躍する側に回る/等**
 - ・ 様々な教育活動をつなぐことで郷土愛を醸成する価値や効果
- イノベーション創出力
 - ・ 「チームワーキング」「ロジカル思考」「デザイン思考」とは何か
 - ・ 「イノベーション創出力」育成の初期段階としての指導のあり方
 - ▶ **理論と探究活動を繰り返す3年間の学習過程**
 - ▶ 「**他者に深く共感した課題解決の姿勢」「イノベーションの価値・意義の理解**」
- グローバル社会への対応
 - ・ グローバル社会への関心を高め、意欲を喚起するための体験活動
 - ▶ **生徒の「楽しさ」を重視/越境体験/心理的安全性の確保/等**
 - ・ グローバルの視点を生かして生徒の探究活動を高度化させる工夫
- まとめ
 - ・ 探究学習を向上させるために各高校が工夫すべきポイント

第Ⅲ章 探究的な学びを充実させるポイント

- 課題設定の指導
 - ・ 「問い」と「リサーチクエスト(質の高い課題)」の違いを理解させる
 - ・ 実社会との関わりから問いを見いだす段階の指導
 - ▶ **生徒自身の考えとのずれに着目させる/現実と理想像を対比させる/等**
 - ・ 「リサーチクエスト」として洗練させる段階の指導
 - ▶ **言葉や論理の正しさを問う「そもそも」/仮説を問い直す「他には」/等**
 - 地域、企業、他校種との連携
 - ・ どのような場面で連携が生きるか、どのような利点があるか
 - ▶ **ユニークな学びの体験/学校の特色づくり/「信頼されるコミュニケーション」**
 - ▶ **「人生観や職業観を知る」「学びに向かう意欲」等のキャリア教育の効果**
 - ・ 連携の際の留意点
 - ・ 生徒の事前指導のポイント
 - 数学的、科学的手法の活用
 - ・ 情報収集の段階: 収集方法の妥当性の吟味、再現性の確保
 - ・ 整理・分析の段階: 推論の妥当性の吟味
 - ▶ **陥りやすい誤りの解説(後件肯定の誤謬、疑似相関、比較対照群の欠如)**
 - ・ 指導の際の留意点
 - ▶ **先回りして教えずに、生徒とよく対話して、ともに考える姿勢を大切にする**
 - ▶ **生徒に小さい失敗を経験させ、そこから気付かせてゆく学びを大切にする**
- ◎ 観音寺第一高校がSSHとしての理数教育の普及の一環として執筆

第Ⅳ章 リーディングスクールにおける実践

- ※ リーディングスクール3校における、具体的な取組内容の紹介
 - ・ 学習目標と評価方法の設定
 - ・ 3年間の学習の過程の設定
 - ・ 実施した効果的な取組とその成果
 - ・ 教員間の考え方や情報の共有の仕方
 - ・ 取組の中で大切にしたい考え方や着眼点を言語化する工夫 等
 - ◎ **主眼を置いた資質・能力の育成をめざした個性的な実践事例**
 - ◎ **実際の学習の様子がイメージできるよう、写真、生徒や教員の感想、使用したワークシート等を多く配置したほか、巻末に資料編も加えた**

おわりに

今後の展望について

「香川型教育メソッド」とは何か

生徒一人ひとりの夢や希望、目標の実現に必要な
資質・能力を育成する、魅力あふれる県立高校

香川県教育委員会『**魅力あふれる県立高校推進ビジョン～未来を生きる力を育む特色ある学びの場をめざして～**』（令和2年3月）に基づき、学校現場における新しい教育の在り方を具体的に示す方法論を「**香川型教育メソッド**」と呼んでいます。

特定の分野の
専門性が高い知識・技能

従来の枠を超えた知識・技能及び
これを活用した思考力・判断力・表現力

世界で活躍する意識・意欲

STEAM教育

学科・コース等を
横断する学び

文系・理系の枠を超えた
教科等横断的な学び

グローバル
人材の育成

産官学の連携に
よる学び

【それぞれの高校の特長
的な教育活動によって育成
すべき資質・能力】に
関する方法論

郷土への理解
や郷土愛

イノベーション
創出力

グローバル社会
への対応

知・徳・体のバランス
の良い成長

学びに向かう
態度

【全ての県立高校において
共通して育成すべき資質・
能力】の具体的な育成の
在り方を示す「香川型探
究学習」の方法論
※本書で取り上げた、**香
川型教育メソッドのコア**
となる部分